

グッドキャリア企業アワード2018

イノベーション賞受賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

社会保険労務士法人ハーモニー



評価のポイント

顧客の「働き方改革」にコミットできる 専門家としての育成・成長を目指したキャリア形成支援

経営者からのメッセージ

今「働き方」が大きく変わる節目を迎えています。そのため、経営者に対し良き提案やアドバイスができる社会保険労務士が求められています。この賞を頂けたことは「もっと頑張りなさい」というエールと感謝致します。今後も「親身」に寄り添える人材を育成し、社会に貢献致します。

代表社員
徳永 康子



企業概要

- 事業概要: 労務管理コンサルティング、労働社会保険事務代理等
- 業種: 社会保険労務士事務所
- 所在地: 千葉県千葉市
- 従業員数: 23人
(男性6人/女性17人、うち非正規雇用11人)
- 平均年齢: 39.3歳
- 創業年: 1997年

キャリア形成支援担当者紹介

[キャリア形成支援の取組をして良かったこと]

「自分には無限の可能性がある」ことを、仕事を通じて実感できる従業員が増えてきた事。自己の成長意欲が顧問先への貢献意欲に繋がる事を気づかされました。

[キャリア形成支援の取組で苦労したこと]

知識を深め、分かりやすく伝える事が喜びであると、前向きに歩めるチーム作り。チームの一人一人の成長という視点を持ち、上司が部下の長所や欠点を捉え、客観的に指導できるようになること。

社員 東京オフィス 所長
山崎 裕樹
担当年数: 5年



取組を始めたきっかけとこれまでの経緯

社会保険労務士に求められる経営者の視点が大きく変わってきたのがきっかけです。昨今、コンプライアンスに対する意識の高まりを背景に、「働き方改革」にコミットし、親身に寄り添える「会社の参謀」としての役割までが求められるようになりました。このニーズに応えるべく、今期と5年後のビジョン（目指す法人像、社員像）を、経営計画発表会で明確に伝えました。計画を元に、「育成・成長ビジョン」を共有し、「専門家を育てる」キャリア支援に取り組んでいます。

具体的な取組

「育成・成長ビジョンの共有、 仕組みの見える化でキャリア形成を支援」

【育成ビジョン】

社員は6~7名単位で構成されているチームに所属。毎週のチームミーティング、期中の個別面談を通じて、目標達成の進捗や課題を確認します。目標は法人・チームとして達成すべきものだけでなく、個人の目指す理想像、意欲を考慮し、チャレンジ目標を設定します。役員・チームの上長で構成する月に1回のコンサル会議内で、チームごとの育成状況を共有し、希望者には外部研修参加費用として一人1年10万円まで、必要な支援を行います。



【成長ビジョン】

月に1回はチームを横断し、業務面での専門性を高める『コンサル勉強会』、半年に1回は当社が主催する異業種研修の場『ロウムカフェ』を開催し、知識を得るだけでなく、参加して下さる顧問先・関与先企業との接点を通じて、専門家として、会社の参謀として「お客様が求めているものは何か」を常に感じ取る機会も用意しています。さらに社会保険労務士の資格取得を推奨し、2016年4月より合格者へのお祝い金制度も新たに導入しました。

今後の課題と展望

働き方改革の実践と「働き方改革」支援に ふさわしい専門家を目指す

「働き方改革」実現に向け、2018年7月に働き方改革関連法が公布されました。

また、今年は社会保険労務士制度創設「50周年」の節目の年です。まず自分たち自身でキャリア支援に取り組み、中小企業の先進事例となることで、「働き方改革」にコミットできる専門家として、お客様や社会に貢献することができると考えます。

今後も継続的に、従業員のキャリア形成と、専門家としての一層の成長をサポートしてまいります。

取組の効果

専門家として育成される自覚から、 従業員満足度、顧問先満足度のアップ

経営環境の変化により、事務代行中心の旧来型の社会保険労務士業は徐々に淘汰され、今まさに私たちの活躍する場が増えています。

キャリア支援の取組によって、「評価の基準」が明確になり、指導する上長も、従業員本人も、方向性をそろえて目の前の業務に取り組めるようになりました。専門家として育成されているという自覚から、従業員の満足度、貢献意欲が上がってきております。併せて女性の管理職への積極登用も進め、女性管理職比率は約50%になっています。質の高い顧問先サービスの標準化を進めた結果、顧問先様からの満足度も上がり、顧問先数の増加、顧問先単価のアップ等で対前年比約10%超の売上アップを達成できました。

社員の声

- Q1 自身のキャリアを考えるきっかけ（制度・出来事など）とは？
- Q2 その後、取り組まれたことや起こった変化とは？
- Q3 築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは？



東京オフィス
コンサルタント
菊池 麻由子

A1 外部の研修に参加させてもらったとき、幅広い視野を持って、お客様の役に立つ仕事をしたいと思ったのがきっかけです。

A2 2016年4月から「キャリアコンサルタント」が国家資格になり、勉強して取得しました。最近は仕事に繋がるようになってきました。

A3 企業の、従業員に関する問題解決に向けた支援をすること。企業の発展、従業員の成長と一緒に喜び合えるコンサルタント。



幕張オフィス
サブコンサルタント
高橋 直樹

A1 これまで勤めていた福祉の仕事から転職したことで、社会保険労務士としての専門性を深めて、世の中の役に立ちたいと考えました。

A2 自分自身のキャリアアップを通じて得る機会はたくさんあるので、経験のないことにも積極的に挑戦できるようになりました。

A3 専門性を高め、お客様によりよい提案ができるよう日々研鑽を積みたくと思っています。また、この仕事の魅力を職場内外で共有し、よりよい組織作りの一端を担いたいです。